

域の活性化を図るための『魚島離島留学事業』

●上島町唯一の県立高等学校である弓削高等学校の振興に向け、県外からの留学生を確保するための『弓削高等学校学生寮運営事業』などを提案しています。

このように、上島町が将来にわたって持続可能な行政運営を行っていくため、今後も更なる行財政改革を推進するとともに、新たな財源の確保、事業の見直し、公共施設の統廃合などに取り組んでいく必要があると考えています。

結びに、2月4日、サッカーJ1の名古屋グランパスは、所属する高校生プロサッカー選手のアルゼンチン移籍を発表しました。18歳で日本代表のトレーニングパートナーの一員でもある高校生は「自分の魂をアルゼンチンでも示し、命懸けでサッカーをしてきます。これからも応援していただけたらうれしいです。行ってきますす！」とメッセージを発信しています。

この高校生は、上島町出身であると言っても過言ではない選手です。

若き18歳が世界に挑戦している姿は、私が忘れかけた情熱を呼び起こしてくれたような気がしています。

● 県立病院 看護師等医療職の募集

令和7年度に採用する愛媛県立病院の看護師等医療職の採用試験を実施します。募集情報は愛媛県ホームページでご確認ください。

【対象】 資格免許保有者および取得見込み者

【募集期間】 6月7日（金）まで

【試験日時】 6月22日（土）・23日（日）

【場所】 松山大学8号館（松山市文京区4番地2）

【問い合わせ】

県公営企業管理局総務課

☎ 089-912-2790

☎ 089-947-6007



オンライン交流ルーム

～令和6年4月から弓削中学校で運用開始～

上島町では国のデジタル田園都市国家構想交付金事業を活用して、クラウド上に、「オンライン交流ルーム」を設置しました。

オンライン上の教室では、学校間を越えた交流や学び合いができます。また、オンライン交流ルームはいくつかの部屋に分かれており、個別の学習相談や悩み相談のできる部屋があります。オンラインでの部屋にも中からカギをかけることができるので、子どもたちのプライバシーを守ることができます。

弓削中1階のデジタルサポートルームと合わせてオンライン交流ルームも活用して、子どもたちの学びの保障に努めていきます。

■ 問い合わせ 学校教育課 ☎ 77-2207

● 愛媛県災害ボランティアファンドへの寄附のご協力に関するお願い

愛媛県では、県内で発災時のボランティア活動に必要な活動資金を助成するため、災害ボランティアファンドを設置しています。詳しくは愛媛県ホームページをご確認いただき、ぜひ寄附のご協力をお願いします。

【問い合わせ】

県保健福祉課

☎ 089-912-2383

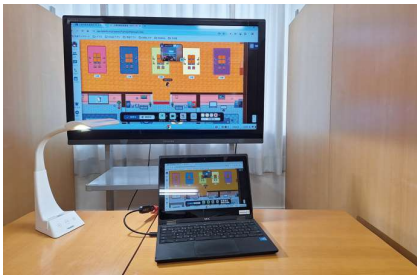
☎ 089-921-8004

愛媛県

Ehime Prefectural Government



▲オンライン交流ルームでのグループ学習の様子



▲デジタルサポートルームでのオンライン交流教室

「デル観光地」として選定しました。

その中に、上島町の「せとうちエリア」があります。住み慣れている町民の皆さんにはピンとこないかもしれませんが、今、旅行客は地方に、「瀬戸内海」に注目しています。

観光庁が選定したように、上島町には外国人観光客の期待にも応えられるだけの魅力があります。消費額増加、地方への誘客をより重視するという観点から選定された「モデル観光地」としての上島町の将来を見据え、今後はそのポテンシャルのプロモーションに更に力を傾注するなど、観光や交流人口の増加に向け、長期的な政策を進めてまいります。

2月19日には愛媛県市町連携推進会議に出席し、中村知事をはじめ県幹部出席のもと、チーム愛媛としての議論が交わされました。特にデジタル人材の育成については、市町自らが積極的に対応しなければならぬ課題であることを認識しました。

同日の愛媛県町村会総会においては「ふるさと納税」についての講話があり、自主財源の乏しい上島町にとって、「ふるさと納税」は積極的に取り組まなければならない重要な施策であることを再確認し

ました。

その「ふるさと納税」対応については、上島町からの返礼品充実や特産品開発など、町民の皆さまのご理解とご協力が必要です。今後ともよろしくお願い申し上げます。

さて、高校の入学者の決定は、推薦入試と一般入試がありますが、愛媛県教育委員会は1月29日、2024年度（令和6年度）県立高等学校学科別推薦入学者選抜の志願状況を公表しました。

その内、普通科の定員に対する推薦入学志願者数が高い高校は、上位から長浜高校58・3%（志願倍率3・89倍）、弓削高校52・5%（志願倍率3・50倍）、今治西本校31・1%（志願倍率2・42倍）の順になっています。

昨年に公表された、弓削高校の推薦入学志願率が22・5%でしたので、今年の数字52・5%は、全国募集による町外からの志願者が大幅に増加したことを物語っています。もちろんその大きな要因は、離島留学生を対象とした「ゆめしま寮」の設置であることは言うまでもありません。

ゆめしま寮の建設費の財源は、ほとんどが国や県のお金を活用していることから、上島町からの持ち

出しはわずかであり、今後の運営費も国の離島予算からの支援があります。

また、建設地にあった地震に耐えられない公民館は、約4500万円の解体費用を、本来であれば町の財源で全てをまかなうこと、すなわち上島町民が全額負担しなければならぬ施設でした。

しかし、跡地活用として「ゆめしま寮」を建設したことにより、解体費用の約70%を国の予算で対応できるようにしたので、このことから効率的な予算運営ができたものと考えています。

次に、上島町の令和6年度の当初予算についてですが、その編成にあたっては、物価高騰の影響が長期化している状況ではありますが、将来的な人口減少対策を進めながら、DX（デジタル・トランスフォーメーション）や、こども・子育て支援の取り組みなど、新たな行政課題への対応や将来に渡って持続可能なまちづくりに向けた取り組みを行う必要があります。

これらを踏まえ、上島町の一般会計当初予算の総額は73億3200万円と、前年度に比較して9300万円、1.3%の増となりました。

特別会計と令和6年度から企

業会計に移行する下水道事業および簡易水道事業も含めた町全体の予算総額については、115億2900万円となっています。

歳入では、歳入総額の約5割を占める地方交付税が、国の地方財政対策および前年度実績から33億2600万円で前年度比1億400万円、3.2%増と見込みました。

一方歳出では、人件費、扶助費、公債費を合わせた義務的経費が、30億5200万円で、前年度比1億6000万円、5.5%の増となりました。これは、人事院勧告にともなう給与改定や会計年度任用職員への勤勉手当の支給が影響したものです。

新規および重点事業としては、●子育て支援策として、22歳になる大学生なども対象に拡充した「子育て支援医療費助成事業」

●合併20周年の節目を、町民の皆さんと祝いする『合併20周年記念事業』

●人口減少対策として、愛媛県と連携して各種事業に取り組む『えひめ人口減少対策総合交付金事業』

●上島町の主要産業である海苔養殖業の振興を図るための『水産業強化支援事業』

●魚島小中学校の存続、および地